

令和7年度第2回

廿日市市地域包括支援センター運営協議会会議録

廿日市市健康福祉部高齢介護課

1 日時

令和 8 年 3 月 9 日（月） 19：00～

2 場所

山崎本社 みんなのあいプラザ 1階 多目的ホール

3 出席者

(1) 委員：大久保会長、堀副会長、井上委員、藤田委員（WEB 参加）、河内委員、高垣委員、高浜委員、寺田委員、中野委員

(2) 市：森本健康福祉部長、野田上高齢介護課課長、（事務局）藤森高齢者支援係長、佐々木

(3) 地域包括支援センター

友重所長（はつかいち西部、さいき、おおの兼務）、山野所長（地域包括支援センターはつかいち東部）、西野所長（地域包括支援センターはつかいち中部）、横山所長補佐（地域包括支援センターはつかいち西部）、延安所長補佐（地域包括支援センターさいき）、柿丸所長補佐（地域包括支援センターおおの）

4 内容

(1) 部長あいさつ

平素から本市の行政に格別なる御協力と御理解を賜り、御礼申し上げます。

本日の運営協議会では、来年度の運営方針や、事業計画のほか、来年度令和 9 年度以降の、地域包括支援センター廿日市東部と廿日市中部の公募についてを議題としている。

また、令和 6 年度の事業評価についても、後程議題とし、事務局から説明申し上げます。

複雑化する地域の福祉ニーズにこたえていくためには、現場の実情に即したセンター運営が不可欠である。委員の皆様におかれては、それぞれの専門的なお立場から、忌憚ないご意見いただくよう、お願いします。

限られた時間ではあるが、お力添えをお願いし、開会の挨拶とする。

(2) 報告事項

ア 令和 8 年度廿日市市地域包括支援センター運営方針（案）について

※それぞれ配付資料に基づいて職員から説明した。

【質疑応答】

➤ 大久保会長

この連携システムやICTの導入、予算はどうなっているか。

➤ 友重所長

ケアプランデータ連携システムの導入についての予算は、インターネットにつながるパソコンがあればその他必要な機器等はない。また、電子証明書の費用が2万1,000円かかるが、それも現在キャンペーン期間中ということで無料となり、予算には特に影響しない。

➤ 大久保会長

はじめての取り組みか。

➤ 友重所長

そのとおりである。来年度の導入となる。

➤ 中野委員

大野地域の担当圏域の二分化について。廿日市は3圏域要するに3つの地域包括がとりもっているが、担当圏域を二分化することと2ヶ所の包括支援センターを設置することのメリットデメリットというのか、なぜこちらを選んだかというのが一点。また、ケアプランデータ連携システムの導入について。通信関係でのセキュリティなどに関する予算は必要ないのか。

➤ 友重所長

大野地域二分化についてだが、今まだ検討中の段階であり、委託をしないということを決めたわけではない。今、委託も踏まえて検討しているところである。またケアプランデータ連携システムについては、デジタル改革推進課との協議を重ねており、個人情報を含むデータについての取り扱いについて、市回線である介護保険システムを使っており、介護保険システムからのデータ取り出しなどは、何段階かに分けて、安全性を保つというようなことを考えながら、インターネットの回線を使ったデータのやりとりを工夫をしている。以上。

➤ 大久保会長

大野の地域包括支援センターを2つに分けるよりも、1つの中を、チームに分けたということだろう。例えば、今まで西部から東部が分かれたのは、包括がわかれたのであり中が分かれたのではない。これはまだ全体の人数がそこまで多くないから、1つのところで中を分けたということか。

≫ 友重所長

高齢者人口は確かに多い圏域ではあるが、委託も含めた、包括の体制を検討する段階であり、まず圏域を分担しながら、地域課題など取り組めていけたらいい。

▶ 大久保会長

今後大野東や大野西という包括支援センターができる可能性もあるのか。

≫ 友重所長

それも選択肢として、しっかり検討していきたい。

▶ 高浜委員

大野の件で1つ、ちょっと確認したい。理念として、地域関係者、民生委員、自治会、事務所との連携が深化すると。相談の掘り起こしや早期発見に繋がるということが掲げられるのは理解できる。その上で、委託を受けている側の人として見た時、介護予防の場合は一連の過程の中に「サービス担当者会議に、地域包括支援センターの人に参加してもらわなければならない」というものがあり、例えば体制、職員体制とか、地域割りとかと言うよりも、まず日程ありきである。その時に、例えば明日サービス担当者会議開きたいとなったとき。厳密な区分けが東部と西部にわかれていて例えば、地域が宮島口だったら宮島口の、東部の担当者の人が皆出払ってます。というときに、西部担当の人で、手が空いてる人がいたら会議に出席してもらいたい。そういった協力体制の調整をお願いしたい。

▶ 大久保会長

事務局としては如何か。

≫ 友重所長

臨機応変に対応する。

イ 令和8年度事業計画（案）及び予算（案）について

※それぞれ配付資料に基づいて職員から説明した。

【質疑応答】

▶ 大久保会長

予算案のところにある、報酬と給料の違いは何か。

≫ 野田上課長

報酬は会計年度任用職員の給与、給料は常勤職員の給与である。

➤ 寺田委員

通いの場関係のところでは少し聞きたい。体操をキーワードとした通いの場には限界があるというのは広域支援センターだけでなく県の11広域ですごく話題になっており、はつポは非常に関心が高い。楽しみをメインとした活動からついでに体操といったように人が集まりやすくなる検討をしているのかということ。もう一点、常時繋がりにたくない、困った時だけ繋がりたい人のためのそういう通い場というものを何か検討などしていれば。もし、それどころではなくまだまだ基盤のところでは、今ある場を潰さないようにやっていかなきゃいけないといったことも狙いだと思うので、そういったものがあったら教えていただきたい。

≫ 延安所長補佐

楽しいというのとは違うかもしれないが、いきいき100歳体操で例がある。ある地区ではマックスバリュの移動販売車がきたり、健康相談があったりする。参加者の人も100歳体操した後にお茶をいつも飲んでいて、体操もいけどお茶飲むのもいい、とかお話しするのがいいとか話された。一人暮らしの人がいれば、気が晴れると思う、など。体操プラス楽しみというか、移動販売を利用したりとかされており、本当に楽しく、過ごしておられた。

≫ 柿丸所長補佐

困ったときだけ繋がりたいっていう方が、やはり大野でも多い。今回ははつポが導入されたので、それで自分から歩いたり、ラジオ体操をしたり少し活動してみようと自分独自で健康づくりをやってる方も多い。やはりこういう方も、何か困ったときには、繋がっていくところとして、市民センターなどにあるコミュニティーの団体等や、例えばコミュニティーを回る移動車の楽々キャブなど地域資源を伝え、コミュニティーに繋ぐこともある。包括支援センターの連絡先もはつポのアプリの情報に、常時載っており、何かあったら連絡できるように啓発している。何かの時の繋がり合いを、できれば参加していただいて、顔の見える関係づくりっていうのを、地域で作っていただけたら一番であるとは思っている。

➤ 寺田委員

はつポをきっかけにつながれるというのは、ひとついいものができたなと思っている。こういったかたちでうまく繋がっているというような情報を、今後包括から病院や通所へ頂くと、地域の方をまたつなぐきっかけになると思う。

➤ 高垣委員

この予算案には支出の項目しか載っていないが、歳入はないのか。

≫ 野田上課長

説明のために一部抜粋しているものである。予算全体では歳入もある。

➤ 大久保会長

地域包括支援センターおおのの事業計画について。相談の項目の取り組み目標に相談ケース1万2,000件以上、実態把握4,000件以上というのは、人口が3万人ぐらいの規模のところでは3人に一人が相談していることになる。現実的にこのぐらいの相談件数なのか。また、大野地域のケア会議が10回、宮島地域のケア会議が12回とこちらも多いが何か理由があるのか。

≫ 柿丸所長補佐

延べ件数なので多く見える。一人の人が何回も相談することもあるので、このようになっている。大野地域の定例のケア会議は6回くらいだが、その他の企画会議などもすべて含めているため10回としている。宮島の方は毎月、支所、ランチ、社会福祉協議会の方含めて全員でケースの共有をし、地域の課題等を考えている。

➤ 堀委員

この会計は、委託である中部、東部を含めた予算案なのか。直営だけか。

≫ 野田上課長

一般会計の委託料に中部と東部の委託料が含まれている。

ウ 令和9年度以降の地域包括支援センター運營業務（はつかいち東部・中部）の公募について

※配付資料に基づいて職員から説明した。

※ウ 令和9年度以降の地域包括支援センター運營業務（はつかいち東部・中部）の公募についての質問は無し。

エ 令和6年度地域包括支援センターの事業評価について

※配付資料に基づいて職員から説明した。

【質疑応答】

➤ 大久保会長

地域包括ケアシステムの構築というところで、ちょっとそれが今まだでき上がってないよということか。

≫ 友重所長

各包括支援センターでアンケート調査を行うことで評価が高くなるようにはなっているが、個人的には、もう、市の方でそういう独自のアン

ケート調査を、地域別で把握ができるような、調査結果を出しているの
で、それをしっかり活用できており、地域課題を把握するのに支障はな
いとは思っている。

▶ 大久保会長

それに準じた対応をしているということで承知した。

オ 前回の運営協議会での質問事項に関する回答について

※それぞれ配付資料に基づいて職員から説明した。

※オ 前回の運営協議会での質問事項に関する回答についての質問は無し。

閉会